

# ソリリス® の治療を受けている 患者さんにご家族の方へ ～『ソリリス® 患者安全性カード』の使い方～

監修：住友病院 院長 金倉 譲 先生

## ● 発熱がありましたら、担当医師に連絡してください

- ◆ 『ソリリス® 患者安全性カード』に記入した連絡先の担当医師にご連絡ください。
- ◆ 担当医師に連絡がとれない場合には、すぐに救急車を呼び、『ソリリス® 患者安全性カード』を医療スタッフに提示してください。

## ● ソリリス® の重大な副作用に「髄膜炎菌感染症」があります。

- ◆ 「髄膜炎菌感染症」は、生命にかかわる可能性のある病気で、お亡くなりになった患者さんや後遺症が認められる患者さんがいます。

### 監修者のコメント

「髄膜炎菌感染症」は、最も注意が必要な感染症であり、抗菌剤による治療をはやく開始する必要があります。

発熱したら、「髄膜炎菌感染症」を疑って、夜間でも休日でもすぐに担当医師に連絡することをお勧めします。

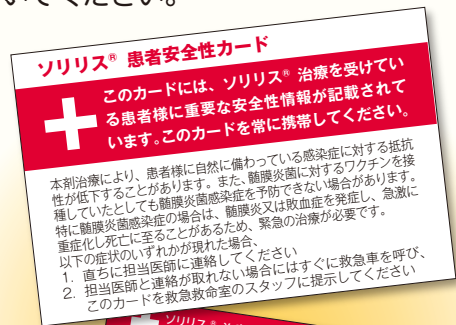


## ● 『ソリリス® 患者安全性カード』とは

- ・ ソリリス® で治療中の患者さんとそのご家族に、「髄膜炎菌感染症」の初期症状について知っていただき、疑われる症状がある場合は、すぐに担当医師へ連絡していただくことを目的に配布しています。
- ・ 他の診療科や医療機関を受診される際に、受診医療機関の先生方への情報提供も兼ねています。

## ● 『ソリリス® 患者安全性カード』をいつも持ち歩きましょう

- ・ かかりつけの病院、担当医師、連絡先を忘れず記入していることをご確認ください。担当医師が代わりましたら記入内容を変更してください。
- ・ このカードをいつも持ち歩いてください。
- ・ お一人何枚でも持つことができます。
- ・ ご家族や介護の方々にもお渡ししておくと、いざというときに安心です。
- ・ 発熱などの「髄膜炎菌感染症」が疑われる症状がでたら、ご自身で判断せず、すぐに担当医師にご相談ください。
- ・ 緊急時にはカードに記入した担当医師に連絡できるようにしてください。

A close-up of the bottom portion of the patient safety card, showing a form for recording patient information. The form includes fields for patient name, hospital, doctor, phone and email, and emergency contact information. It also includes a note about emergency hospital referrals.